

続・ふるさと こぼれ話

おおき

青木の観腸先生 ⑭

— 酒井良清物語 学校医② 児童生徒の保健研究発表会 —

第82回

児童生徒の保健研究発表会は、昭和47年から平成17年までの34年にわたり、農業者トレーニングセンターを主会場に開かれた。

参加者は、町議会正副議長、教育長、教育委員、町内の小中学校の学校医、歯科医、薬剤師、整骨医、保健課長、保健師、中学校長、民生児童委員、中学校養護教諭、栄養士、PTA役員、食生活改善推進員、全小中学校の児童保健委員など百数十人に及んだ。

児童生徒にかかわる多くの関係者に、児童生徒の体力や健康問題について、共通した理解をもらうことが重要と、観腸先生は教育長や学校長と相談して

参加者を決めたのである。

発表は、中学校は1校なので毎年、小学校は各地区3校なので3年に1度の割合で行われた。小学校の発表は、競い合うように学校ぐるみで取り組まれ、毎年、水準の高い研究発表会となった。

毎年4月になると、研究発表の当番となった学校では、児童生徒の各種委員を決める際に、自然と保健委員には比較的積極性のある児童生徒が選ばれた。保健委員が決まると早速、養護教諭と「うちの学校は何をテーマに調査研究をしようか」と何回も打ち合わせが行われ、児童生徒自身がテーマを決め調査や研究会が行われた。

児童生徒自身で自分の

ちの体力や健康について、いろいろと調べたこと、自らの健康ばかりでなく、家族の健康のことも考え、家族の中で健康のことが話題になることを観腸先生は考えていたようである。観腸先生は学校長に、研究発表会には万難を排して出席するよう厳命していたという。



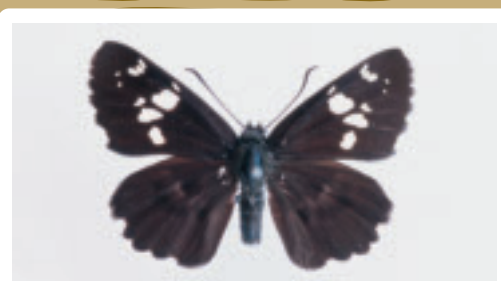
▲児童生徒保健研究発表会の資料

(つづく)



しまたがしの芳賀の自然

34



ウラゴマダラシジミ チョウ目シジミチョウ科

写真提供＝芳賀町自然に親しむ会
分 布＝北海道～九州
生息地＝谷間の林縁。2～3mの高さを緩やかに飛翔する。
発 生＝5～7月(1回/年)
食 性＝イボタ類・ハシドイなどが食草
大きさは開張(羽を広げた最大値)30mm
特 徴＝雌雄とも羽裏に、灰白地に2列の黒褐色の点列がある。クリヤヒヨドリバナなど白っぽい花を好んで吸蜜する。

編集後記

□明けましておめでとうございます。
今年のお正月はいかがお過ごしでしょうか。今年には「うさぎ年」ですね。1月号には間に合わず掲載できませんでしたが、毎年恒例、芳賀中美術部の力作・うさぎの大絵馬が天満宮に飾られています。部員が一丸となつて製作にあたったそうです。
□私も中学生のがんばりを見習って、新しい年を歩んでいきたいと思えます。

(K)



▲祖母井神社

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp

④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

